

留学体験レポート

国際文化学科 2年 池田理紗

私は2015年8月30日から2016年1月9日の約4か月間、中国の北京にある北京師範大学に留学していました。私は幼いころから海外に興味を持っていました。なので、いつか留学していろんな国の人と関わりたいなと思っていました。4か月少し中国に留学して、私はいろんな人に出会いました。日本にいたら会うことはできなかったと思います。ルームメイト、クラスメイト、四川旅行で仲良くなった友達、交流会で知り合った友達たくさんの方がいます。そんな彼らと触れ合っているうち思ったことがあります。やはり国によって性格や文化が異なるという事です。ふるまい方もそれぞれ違うので観ていて面白かったです。クラスメイトと中国語で会話したり話し合ったりするのも楽しかったです。ヨーロッパ系や欧米の人たちは会話をするとき手をよく使うなと思いました。言葉だけでなく手ぶりも付け足してさらに、表情もとても豊かです。驚いたときやいやな顔、まあまあな顔などいろんな表情を見せてくれました。日本人は手ぶりをあまり使いません。表情も笑顔か真顔がほとんどだと思います。ほかの国の人と話すときに表情の変化や声のトーンが七変化するのでとても楽しかったです。国が違くと話す言葉が違うだけでなく、表情の変化など様々な変化がありました。そのような変化や違いを見つけることも海外の国の人と触れ合う中での楽しさの一つでもありました。もし留学していなければ、家族の大切さ友達の優しさ、時間の使い方、食べ物について調べようとも気づくこともなかったと思います。また、留学先で出会ったルームメイト、クラスメイト、友達と出会い、たくさんを知り仲良くなることができなかったと思います。なので、留学に行かせてくれた家族、留学中に支えてくれた友達、ルームメイト、中国で出会った友達、学務課の方々、その他大勢の人に感謝したいと思います。この4か月の思い出を大切に、これからの日々も大切にしていきたいと思っています。